

2021年5月9日(日) メッセージアウトライン 「カレブ」という生き方」

聖書箇所：ヨシュア記14：6～15

タイトル：「カレブ」という生き方」

テーマ：エフンネの子“カレブ”という名前を聞いて、ああ、あのカレブと思う方、えっ、それって誰だったかなと思う方もいらっしゃるかもしれません。

では、ヌンの子“ヨシュア”という人物についてはいかがでしょう。旧約聖書にはヨシュア記という書物がありますから、こちらはよくご存じですすよね。

この二人は同時代を生きた人ですが、二人とも主なる神に対する信仰を貫いた人という点では同じです。

けれども、この二人を比較してみると、イスラエルを率いるリーダーとして立てられたヨシュアのあり方と、一信仰者として主に従いとおしたカレブの雑草のように逞しい生き方が語りかけてくる躍動感と魅力に圧倒されるのです。

ヨシュアと比較しながらも、カレブの信仰者としての魅力的なお手本に、私たちの信仰の歩みを重ね合わせて見てまいりましょう。

1. ヨシュアとカレブ（同時代を生きた人としての共通項）

- ①モーセに導かれて出エジプトを果たした
- ②カデシュ・バルネアでの出来事
- ③12人の偵察隊の報告

2. ヨシュアの人生

- ①モーセの従者として（出エジプト17：9～13、24：13 民数記27：18～20 参照）
- ②イスラエルの指導者として（申命記31：23、34：9 参照）

3. カレブの人生（ヨシュア記14：6～15）

- ①過去
- ②現在
- ③その後（ヨシュア記15：13～17）

4. 結論

- ①み言葉を徹底的に握りしめて
- ②置かれたところで咲きなさい